

| | |
|-----------------------------------|---|
| 第 9 回 | ヌクレオチドとその誘導体および核酸の化学 |
| 第 10 回 | 核酸と遺伝情報の流れ：染色体の複製、転写と RNA プロセッシング |
| 第 11 回 | 核酸と遺伝情報の流れ：翻訳(ポリペプチドの生合成)と翻訳後修飾 |
| 第 12 回 | 代謝総論：異化代謝と同化代謝、代謝経路と ATP |
| 第 13 回 | 代謝総論：生体内酸化剤/還元剤 |
| 第 14 回 | 解糖 |
| 第 15 回 | 解糖の調節 |
| テキスト | 「管理栄養士講座 生化学・分子生物学」(建帛社) |
| 参考図書・ 教材／データ ベース・ 雑誌等の紹介 | 「ストライヤー・生化学」入村達郎ら監訳 (トッパン) 「理系総合のための生命科学」東京大学生命科学教科書編集委員会編 (羊土社) その他、講義時間に生化学 1、生化学 2 および管理栄養士演習における生化学領域の講義で一貫して使用するプリント資料を配布する |
| 課題に対する フィード バックの方法 | 課題は特にないが、講義した範囲をまんべんなく網羅した試験を実施する。 |
| 学生へのメ ッセージ・ コメント | <p>生活中的化学で学習した化学の基礎的知識と理論。モルの概念、物質の濃度、酸化還元反応、酸と塩基、化学反応論に関する基礎知識と理論は、特に重要である。</p> <p>丸暗記ではなく論理を理解することを重視して授業に取り組んでほしい。講義は、何よりも理解することを心がけて聞くことが大切である。重要な事項は、講義全体を通して繰り返し話すようにしますので、一回でわからなくとも最終的に必ず理解できるようになるとの信念を持って、勉強を投げ出さないように心がけてください。</p> <p>講義中にとったノートをもとめて自分のための教科書を自分の言葉で作る努力をしてください。毎回短時間でいいから、その日学んだ範囲のノートや教科書を見直すことを続けることを勧めます。</p> |